

<長崎市：コミュニティバス（都心部循環バス）の運行>

施策名	コミュニティバス（都心部循環バス）の運行
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シース など	背景 1：マイカ - 利用の増大により、都心部では交通渋滞が慢性化し、さらには、公共交通機関離れが進行し、特に、本市の代表的な公共交通機関であるバスの利用者が年々減少している。 背景 2：路線バス、路面電車の運行体系が利用者流動、観光流動に対応できていない。 背景 3：都市の外延化に伴う人口の空洞化、大規模商業施設の立地等により中心市街地では求心性を失いつつある。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	● 目的・ねらい：公共交通機関の利用促進による都心部における交通混雑の緩和。 既存のバス、路面電車を補完する新たな輸送手段の確保による市民の利便性の向上。 都心部の回遊性を向上させることによる中心市街地の活性化。 ● 対象交通：自動車利用者からの転換
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 13 年 11 月：都心部循環ル - ト運行開始 平成 14 年 5 月：運賃値下げ（150 円均一→100 円均一）
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	● 実施主体：長崎市 運行事業者：長崎自動車株式会社 ● 検討組織：長崎市 ● 広報：広報用チラシの作成・配付 市広報誌、各種マスコミ媒体の活用による広報 等 ● 費用負担：運行経費と運賃収入との差額を運行事業者へ補助 広報等に係る経費は市負担

実施概要	
対象地域 実施日時 施策内容 など	●対象地域：都心部 ●実施日時：平成１３年１１月１日～（運行開始日） ●施策内容： ・運行ルート：都心部内を循環する（左回り） 〔約５ｋｍ バス停数１６箇所〕 ・所要時間：約２５分 ・運行日：毎日運行 ・運行時間：始発１０時００分・終発１９時００分 ・運行本数：平日３４便／日・土日祝３７便／日 ・運賃：大人１００円・小人５０円 ・運行車両：中型バス
効果測定内容	
測定内容 効果把握 など	●効果測定内容：利用者数調査 ●効果把握結果：-
取組上の課題	
合意形成 費用負担 など	課題１：利用者ニーズの把握に努めるとともに、利用促進に資する効率的な運行形態を目指す。 課題２：積極的な広報活動等を行い利用促進に努めていく。
その他特記事項	
今後の方向性 地域指定 等	・現在、ＧＰＳ携帯電話を活用した走行位置配信サービスを実験中（平成１５年２月～）。

以上

都道府県市名：長崎県
担当部局名：都市計画部交通企画課